

地域科学技術政策の変遷



第1期科学技術基本計画（平成8～12年度）～地域科学技術振興の基盤作り～

- 科学技術に対する理解の増進、基底的・先導的な研究開発の推進、科学技術関連施設の整備に対する支援の拡充
- 産学官の研究開発機関が参加する制度の整備・拡充、コーディネート活動の強化
- 公設試験研究機関への支援



第2期科学技術基本計画（平成13～17年度）～クラスター政策開始～

- 地域における知的クラスターの形成
 - 「目利き」人材の養成・確保、コーディネート機能の強化、技術移転の推進
 - 地域主導の産学官連携の推進



第3期科学技術基本計画（平成18～22年度）～クラスター政策の発展～

地域イノベーション・システムの構築と活力ある地域づくり

「地域における科学技術の振興は、地域イノベーション・システムの構築や活力ある地域づくりに貢献するものであり、ひいては、我が国全体の科学技術の高度化・多様化やイノベーション・システムの競争力を強化するものであるため、国として積極的に推進する。」

- 地域クラスターの形成
 - 地域の戦略的なイニシアティブや関係機関の連携の下で長期的な取組を推進
 - 地域のイニシアティブの下で行われているクラスター形成活動への競争的な支援
 - 世界レベルのクラスターとして発展可能な地域に重点的な支援
 - 小規模でも地域の特色を活かした強みを持つクラスターを各地に育成
- 地域における科学技術施策の円滑な展開

【参考：イノベーション関連施策】

○イノベーション25（平成19年6月閣議決定）

<社会システムの改革戦略>

⑧活力ある地域社会を可能にする取組の推進

- 地域産業の活性化
- 地域資源を活用した新商品、新サービスの開発、市場化への支援
- 自治体が主体的に取り組む産業集積・クラスターの形成等への支援
- 集約型都市構造の実現に向けた推進

○科学技術による地域活性化戦略（平成20年5月総合科学技術会議決定）

～地域拠点のエコシステムを目指して～

1. 多様性強化戦略

(2) 地域の多様性強化

- ①地域の多様性を踏まえ、地域が主体的に策定する構想に柔軟に対応
- ④事業実施期間の柔軟化や府省間の連携により、地域科学技術施策間の継続性を高める

2. グローバル拠点強化戦略